



北海道三大祭りの一つ「金刀比羅神社例大祭」が、今年も8月9日から11日の3日間執り行われ、汗と笑顔が根室の街へ感動を包み込んだ。

2日間（10日・11日）に渡って行われた市内巡幸は、奴行列を先頭に獅子、稚児などが続き、金色に輝く重さ1.5tのお神輿が約120人を2班に分けた奉担者に担がれ、勇ましい掛声と共に街を練り歩く。その後ろに四祭典区が趣向を凝らした山車、笛太鼓、金棒、手古舞、子供神輿などがこれに続き、約1.2kmにも連なる大行列となる。





**御**旅所前において、2日間（9日・10日）に渡って行われる祭典区「音と力の競演」の熱演も、大勢の観客らを魅了する。

四祭典区が御旅所（緑町）前の交差点に集結し、四方向き合いになる。9日の夕方は、四祭典区山車と手古舞の競演が行われ、10日の夕方には、四祭典区先太鼓と金棒の競演が行われる。

